

夏の風物詩「半夏まつり」が赤名連担地で開催されました。この日は梅雨の時期にも関わらず快晴。会場周辺は町内外の多くの来場者でにぎわいました。旧赤名JRバス車庫に設けられた特設ステージでは、飯南神楽団や飯南牡丹組、歌謡ショーでは「それ行けカープ」など多くの広島島の歌を唄う南一誠さんが会場を盛り上げました。ステージイベントのトリを飾る「サンシャイン池崎」のお笑いライブで、会場は笑いの渦に包まれていました。澄んだ夜空を彩る花火は、来場者に夏のほじまりを告げているようでした。



瀬戸山城址から望む

夏のはじまりを告げる
半夏まつり

7/6
土



時間が経つに連れてにぎやかに



ステージを彩る飯南牡丹組の皆さん

参加者は、お寺を会場にした『クイズ・ザ・お寺』や日本地図から探す『都道府県当てクイズ』、新聞紙で紙飛行機を折って飛ばす『6月の紙飛行機』など、趣向を凝らしたゲームやクイズに挑戦しながら得点を稼ぎました。



コースにはよく探さないと気づかない「令和クイズ」も!?

志々地区をめぐる夜の大型散歩
いちりナイトウォークラリー
約4キロのコースに設けられた10カ所のポイントで、ゲームやクイズに挑戦しながら歩く「いちりナイトウォークラリー」がさつき会館周辺で開催されました。22回目となる今回は、31チーム総勢200人が参加。特に中学生、高校生の参加が多く、会場は熱気に包まれました。

ゴール後にパシャリ



ゴール後、ボランティアの手作りそうめんがふるまわれ、各賞の発表が行われました。

6/22
土

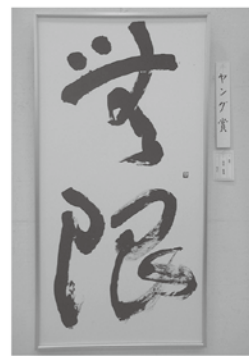


お寺に関するクイズに挑みます

第35回島根県書道協会展
迫田竜飛さんが
「ヤング賞」を受賞

6/23
日

島根県民会館で開催された「島根県書道協会展」で、迫田竜飛さん（飯南高校3年生）が「ヤング賞」を3年連続で受賞されました。迫田さんは「幼い頃から書道に励んできたこともあり本当に嬉しかった。来年からは一般の部に挑戦したい。そして、将来は筆や半紙を製造する職業に就きたい」と話していました。



『無限』の可能性に挑戦する
という想いを込めて



3年連続の受賞は県下初

いーにやん人つなぎ基金
事業認定書
授与式

7/4
木

いーにやん人つなぎ基金事業認定書が、飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会の作野広和会長から2団体に授与されました。授与されたのは、志津見ダム周辺の振興事業に取り組む「有限会社志都の里」、若者主体で昨年のスノーキャンダル等地域の活性化に取り組んでいる「TEAM下来島2016」の皆さん。この認定書は、国道54号を盛り上げる活動に対して交付されており、両団体のこれまでの取り組みが、高く評価されました。

里山資源を見つめなおす
まちづくり講演会
飯南高校体育館で飯南高校と島根県立農林大学の生徒を対象に「飯南町の資源と里山資本主義の精神」と題したまちづくり講演会が開催されました。講師は、日本全国の地域を研究している（株）日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介さん。「人は思い込みで物事を判断したり、行動に移すことが多い。今一度データをみてほしい。今伸びている産業は『林業・農業』である」と参加者に伝えました。



生徒に質問を投げかける藻谷浩介さん

6/19
水



林業の魅力を語る竹本吉輝さん

夜には会場を中山間地域研究センターに移し、一般住民を対象とした講演会を開催。町で「森林資源活用林業魅力化プロジェクト」を進める竹本吉輝さん（株）トビシ代表との対談も。竹本さんは「これまで開発が進んだ日本で、緑が残っていることが奇跡。林業の産業化に可能性を感じている」と話していました。

※森林資源活用林業魅力化プロジェクト：森林資源を活用し、雇用の場の確保や次世代の林業の担い手を育成する取り組み